



# 第105回全国高校野球選手権青森大会

<準々決勝進出校のチーム成績>

チーム	試合数	打数	安打	長打		打率	打点	三振	四死球	犠打	盗塁	失策	併殺	残塁	総得点	総失点
				本	二											
工大一	2	53	23	0	0	.434	17	1	10	9	5	3	0	14	22	3
工大二	2	62	19	0	0	.306	11	5	16	8	0	3	0	21	11	7
東 義	2	53	22	1	0	.415	18	4	11	4	7	3	0	14	18	1
弘学聖愛	2	57	23	1	1	.404	18	4	17	10	11	0	2	15	21	8
青森山田	2	55	23	0	2	.418	19	5	17	7	14	1	2	18	21	0
弘 前	2	50	10	0	2	.200	9	7	19	3	3	2	0	18	12	2
弘前東	2	71	34	1	2	.479	30	6	12	3	3	2	0	14	33	4
八学光星	2	57	20	2	1	.351	22	10	15	1	3	0	0	15	22	5

▽準々決勝  
【弘前はるか夢】  
工大一・工大二 10・00  
弘前東・八学光星 12・30

きょうの試合

第105回全国高校野球選手権青森大会は22、23の両日、弘前はるか夢球場で準々決勝計4試合が行われる。3回戦を勝ち上がった8校が、阪神甲子園球場で行われる全国大会（8月6～22日）の切符を懸け、しのぎを削る。

## きょうから8強激突

勝ち上がったのは、春季青森県王者の工大一、春の東北大会を制した八学光星、昨秋県一位の青森山田、2年ぶりの頂点を目指す弘学聖愛など8チーム。地区別では弘前が4チーム、八戸が3チーム、青森が1チーム。全てシールド校で、波乱の少ない大会となっている。



高校野球報速

工大一 × 工大二

青森山田 × 弘前

弘前東 × 八学光星

東義 × 弘学聖愛

準々決勝を展望すると、22日の第1試合は工大一と工大二の兄弟校対決に。昨夏は工大二の辞退で実現しなかった。強打者の最上晴太を四番に据える工大一は三振が少なく高打率で、小技を絡めて相手投手陣に襲いかかる。工大二は好守を披露し、主戦速心健聖をより立てられるか。

第2試合は弘前東と八学光星が対戦。昨秋の県大会2回戦は弘前東に軍配が上った。大会屈指のスラッ

ガ1中澤恒貴を擁する八学光星は、初戦でプロ注目右腕・成田晴風（弘前工）を打ち崩すなど打線が好調。同じく初戦で25得点と大暴れた弘前東との打撃戦が展開されそうだ。

23日の第1試合は、春季県大会準々決勝と同じ顔合わせの青森山田と弘前が激突。青森山田はエース三浦遼大を中心に失点ゼロを誇り、攻撃も2試合連続で安打が10を超えるなど波に乗る。順当に勝ち上がった弘前は、打線がつながるか鍵となる。

準々決勝最後の試合は東義と弘学聖愛で、弘前地区の私立校同士の対決。盗塁